

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信州名鉄運輸株式会社					
代表者名	氏名	水谷 有吉		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県松本市和田4861					
主たる事業の分類	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	4 8 運輸に附帯するサービス業				
主たる事業の概要	一般貨物自動車運送業(特別積み合わせ貨物輸送業を含む)					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☒	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	596		655	704	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,095				
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	482	482	489	483	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	8,130	8,049	11,023	11,107	

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

☒	ホームページ	http : /www.shinmei-net.co.jp/
☐	印刷物の閲覧	
☐	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

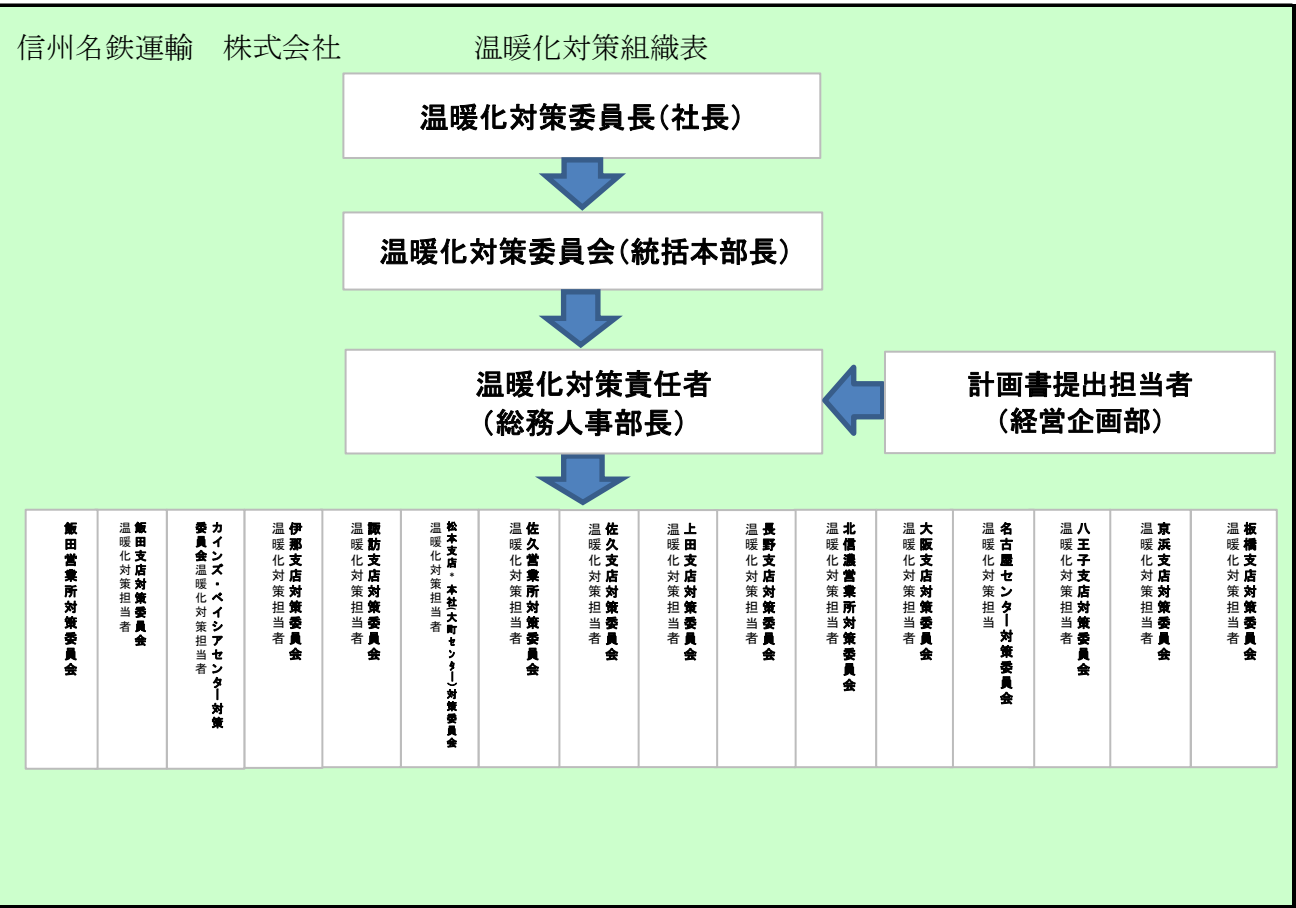
温暖化対策基本方針

信州名鉄運輸株式会社における「環境方針」は、地球にやさしい環境と省エネ・コスト削減に徹した安全輸送の確立を適用する。

2022年度 環境改善の重点

- ① 従業員に対する環境改善の指導・教育を見直し、環境保全の共有化を図る。
- ② デジタコデータを活用したエコドライブの励行により燃費向上を実現する。
- ③ EV車両の導入、リフトの電氣化を推進し排出ガス・騒音の低減を図る。
- ④ リサイクルの取組みを強化し、ゴミの排出量・処分量を削減する。
- ⑤ 従業員の省エネ意識の改革により水光熱費を 5%削減する

5 の 1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5 の 2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

毎月の店所長会議（毎月の燃費向上の掲示、車両ニュース、車両通達）

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8130	t-CO ₂	走行距離	13325.00	単位	千/km
2019 年度				基準原単位	0.61	t-CO ₂ /	千/km
目標年度	目標排出量	8049	t-CO ₂	目標原単位	0.60	t-CO ₂ /	千/km
2022 年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	温室効果ガス制御の為基本方針の中で、燃費・温室効果ガス1%改善目標に基づく排出量の制御効果及び、次世代自動車・クリーン・ディーゼル車両の導入。積載効率5%アップ達成による運行車両の減便。						
第一年度	排出量	11023	t-CO ₂	走行距離	17994.91	単位	千/km
				原単位	0.61	t-CO ₂ /	千/km
2020 年度	削減率	-35.59	%	原単位削減率	0.00	%	
排出量等の増減理由	グループ会社統合により車両が増加の為、二酸化炭素の排出量が大幅に増加した。コロナの影響により、車両代替が計画の半分も実施できなかった為。						
第二年度	排出量	11107	t-CO ₂	走行距離	18000.70	単位	千/km
				原単位	0.62	t-CO ₂ /	千/km
2021 年度	削減率	-36.62	%	原単位削減率	-1.64	%	
排出量等の増減理由	クリーンディーゼル車17台、電気自動車2台導入出来たが、積載効率を上げる為、車両の大型化が進み、二酸化炭素の排出量が増加した。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	走行距離		単位	
				原単位		t-CO ₂ /	千/km
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済	実施済	実施済	実施済		
	I-2	エコドライブの励行	実施済	実施済	実施済	実施済		
III	III-1	次世代自動車の導入計画	実施済	実施済	実施済	実施済		
IV	IV-1	次世代自動車の導入	実施済	実施済	実施済	実施済		

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	自動車		共同配送・共同配達の促進	2020	20	2020	20
2	自動車		エコドライブ促進	2020	20	2020	20
3	自動車		次世代自動車・グリーンディーゼル車両の導入	2020	30	2020	30
4	自動車		輸送能力の向上	2020	5	2020	5
5	自動車		車両維持・管理の徹底	2020	10	2020	10
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式 1 号
(総括票)

1 0 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	14	1,095	15	1,196	15	1,284		
合計	14	1,095	15	1,196	15	1,284		

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1 2 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	2	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	259	288	305	
その他 (ハイブリッド等)	4	9	11	
合計	263	297	318	0
自動車総数	482	489	483	
次世代車導入割合	54.6	60.7	65.8	

1 3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	ターミナルをフル活用し集約効率を高め、一便毎の積載効率を高める。

1 4 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☒	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2020年10月
☐	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	
		名称	
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している	
☐	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している	
☐	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している	
☐	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている	
☐	RE100	☐ RE100にコミットしている	
		☐ 再エネ100宣言RE Action へ参加している	
☐	その他		

1 5 自由記載欄

産業廃棄物の排出量の削減。（廃棄物を分別し、リサイクルに廻せる物はまわす。）